

## 「第19回大阪湾生き物一斉調査」の概要

- 日 時 令和8年5月16日（土）10:30～12:10
- 場 所 深日漁港干潟（大阪府泉南郡岬町深日）
- 主 催 大阪湾生き物一斉調査実行委員会
- 参加者数 26名（顧問1名、岬町立岬中学校科学部8名（うち生徒6名）、大阪府立岬高等学校 RCC 1名、阪南子育てクラブ13名（うち子ども8名）、CIFER・コア3名）

大阪市立自然史博物館学芸員の石田惣先生の指導のもと、岬中学校科学部とともに深日漁港干潟の生き物観察会を実施しました。今回は岬高校 RCC の保井様の呼びかけにより、阪南子そだてクラブからも参加があり、賑やかな会となりました。

当日は初夏を思わせる陽気となりましたが、涼しい風が吹き穏やかな観察日和に恵まれました。平年よりも潮が引いていたため、干潟底のヘドロに足を取られる場面もありました。

深日漁港干潟は、面積はそれほど広くありませんが、干潟のすぐ背後に木々の生い茂る斜面があり、多様な生物が生息しています。カニは磯を好む種類から陸ガニまで狭い範囲で多様なカニが観察され、海浜植物が花を付けている様子も見るすることができます。今回の観察会では、33の生物種が確認され、レッドリスト掲載種であるハクセンシオマネキが巣穴から姿を現し、大きなハサミを振る貴重な姿も確認されました。

参加者からは「たくさん生き物がいて驚いた」「解説が楽しかった」「シオマネキがおもしろかった」との声があり、地域の自然豊かな生態系を深く学ぶ有意義な機会となりました。

※本調査の結果は、「大阪生き物一斉調査 情報公開サイト」に掲載される予定です。



干潟での生物の採取



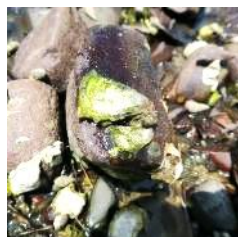
石田先生の解説と採取生物の同定



ケフサイソガニ



レイシガイ



マガキ



ハマサジ



ハマダイコン